

II 教務関係事項(博士前期課程)

1 履修案内

1. 博士前期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士前期課程

- 1 当該課程に2年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたいえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士前期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP14～P15のとおりです。

3. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期（前期、後期）に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して各自行うこととします（履修登録のない科目の単位修得は認められません）。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

4. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、授業区分のうち、特別研究及び演習科目については、平素の成績により、単位を認定することがあります。

5. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

6. 成績評価

成績評価は、本専攻の定める成績評価基準に基づき行います。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とします。

本学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Averageの略で、成績評価値をあらわします。本学におけるGPA制度の成績の表記とGPの換算は次のとおりです。

成績の評語およびグレード・ポイント（GP）

評語	評点 (整数)	H28年度以降に履修する 授業科目のGP 算出方法：(評点-55)/10	H27年度までに 修得した 授業科目のGP	基準等
A+	100点	4.5	4	シラバスに記載する到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	99点	4.4		
	98点	4.3		
	97点	4.2		
	96点	4.1		
	95点	4.0		
	94点	3.9		
	93点	3.8		
	92点	3.7		
	91点	3.6		
A	90点	3.5	3	シラバスに記載する到達目標を達成し、優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	89点	3.4		
	88点	3.3		
	87点	3.2		
	86点	3.1		
	85点	3.0		
	84点	2.9		
	83点	2.8		
	82点	2.7		
	81点	2.6		
B	80点	2.5	2	シラバスに記載する到達目標を達成し、良好な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	79点	2.4		
	78点	2.3		
	77点	2.2		
	76点	2.1		
	75点	2.0		
	74点	1.9		
	73点	1.8		
	72点	1.7		
	71点	1.6		
C	70点	1.5	1	シラバスに記載する到達目標を概ね達成している。 合格（単位を授与する）
	69点	1.4		
	68点	1.3		
	67点	1.2		
	66点	1.1		
	65点	1.0		

	64点	0.9		
	63点	0.8		
	62点	0.7		
	61点	0.6		
	60点	0.5		
F	0～59点	0	0	シラバスに記載する到達目標を達成していない。 不合格（単位を授与しない）
W	付さない	対象外	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に 取消を行った授業科目
認定	付さない	対象外	対象外	単位認定等を受けた授業科目
修了	付さない	対象外	対象外	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、 もしくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	付さない	対象外	対象外	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、 不合格（単位を授与しない）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。

7. 成績の通知

- (1) 成績評価は各自が学務システム（WEB）で確認してください。
- (2) 成績開示後、開示された成績に質問・疑問等がある場合は、当該授業担当教員に質問等を行うことができます。
- (3) 質問に対する教員の回答が得られない、または回答に納得できない場合は、「岡山大学大学院（薬学系）専門科目における成績評価異議申立に関する要項」に基づき、異議を申し立てることができるので、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。
- (4) 成績評価に関する質問・疑問等がある場合には、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。

8. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあつては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。
- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

9. 学位論文の評価基準等

(1) 評価基準

学位（修士）論文は、以下の基準により評価します。

- 1 主たる論文内容が申請者自身の研究結果であること。
- 2 論文内容が質・量がともに担保されていること。
- 3 論文記載の研究成果に、新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること。
- 4 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること。

(2) 審査委員の体制

正指導教員（主査）の他、論文内容に造詣が深く、かつ原則として学会発表等の共著者でない教授、准教授又は講師（ただし、◎の資格を有するものに限る。）1名以上の審査委員をもって組織する。ただし、原則として教授1名以上を含むこととする。

(3) 審査方法

上記審査委員で構成される審査委員会にて論文を審査します。審査の結果、合格であった者のみ、最終試験を行います。なお、最終試験は学位（修士）論文発表会をもって充てます。

(4) 審査項目

- 1 研究への貢献度
- 2 論文内容の質・量
- 3 研究成果の新規性・進歩性
- 4 論文形態・書式の適切性

10. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院又はこれに相当する高等教育機関等を含む）の授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

11. 入学前の既修得単位の認定について

博士前期課程の学生が、大学院に入学する前に本学又は他大学の大学院において履修した授業科目について、修得した単位の認定を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、認定を受けなければなりません。

12. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）又は研究所等において必要な研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。

13. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士前期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する場合は、薬学系教務学生担当に願い出てください。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、薬学系教務学生担当にて手続きを確認してください。

14. 修士課程医歯科学専攻との相互履修科目について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に規定される修士課程医歯科学専攻の開講授業科目について、連携大学院に所属する学生を除き4単位を上限として、修了要件単位に算入することができます。

履修を希望する場合は、所定の様式により指導教員の承認を受けて、教務学生担当へ提出してください。

研究指導計画書

【 年 月 日 作成】

学生番号		フリガナ 学生氏名 【自署】			
講座名		教育研究 分野名			
課程	博士前期・博士後期	在学年次	年次	入学年度	年度
出身大学	学部	大学 学部 学科 (年 月 卒業)			
	修士 ※1	大学大学院 研究科 専攻 (年 月 修了)			
		修士論文 題目	学位の名称		
			指導教員名		
研究題目					
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2
	研究計画 (学会発表、論文作成等を含む) : 学生が記入				
	研究指導計画 : 指導教員が記入				
	本欄は各研究科で適宜利用 ※欄が不足する場合は適宜追加可能 ※副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可				

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

2 開講授業科目及び担当教員

博士前期課程 薬科学専攻

【履修方法】

指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。

授業区分	講義番号	授業科目	担当教員	単位数	修了要件		
					必修	選択必修	選択
研究科 共通科目	導入科目	331001 薬科学概論	全教員	1	1		
大学院 共通 科目	リーダーシップとSDGs	332001 リーダーシップとSDGs	(共通Web授業)	2	2		
	特別研究(※1)	332101 創薬・育薬特別研究	各指導教員	10	10		
		332103 創薬・育薬特別応用研究(2年次専用)	各指導教員	3			3
		332203 創薬・育薬実習1(45時間以上)	各指導教員	1		1	
プロジェクト・ マネジメント実習 (※2) (※3)	332204 創薬・育薬実習2(90時間以上)	各指導教員	1				
	プログラム科目	333101 創薬・育薬研究概論	学務委員長(コーディネーター) 非常勤講師	2	2		
333102 先端創薬研究序論		学務委員長(コーディネーター) 中山 雅敬 教授 細野 祥之 教授	1				
333112 薬科学データサイエンス		座間味 義人 教授 小山 敏広 教授 濱野 裕章 講師 武田 達明 講師	2				
333104 有機化学・天然物化学		好光 健彦 教授 澤田 大介 教授 久保田 高明 教授 加来田 博貴 准教授 栗本 慎一郎 准教授 阿部 匠 講師	2				
333105 分析科学・物理化学		須藤 雄気 教授 上田 真史 教授 井上 剛 准教授 田中 智博 准教授 小島 慧一 講師	2				
333106 生命科学・分子生物学		上原 孝 教授 垣内 力 教授 竹内 綾子 教授 谷口 陽祐 教授 宮地 孝明 教授 表 弘志 准教授 古田 和幸 准教授 高杉 展正 准教授 石川 一也 助教	2		10		
333107 生命科学・レギュラトリーサイエンス		小野 敦 教授 堀口 道子 教授 金 恵淑 准教授 児玉 進 准教授 丸山 正人 准教授 日浅 未来 講師	2				
333108 生命科学・臨床薬学		有吉 範高 教授 山本 和宏 教授 合葉 哲也 准教授 杉本 幸雄 准教授 松本 准 准教授	2				
別表参照		医歯科学専攻相互履修科目(※5)	医歯科学専攻教員				
333109		学際融合科学		1			
333110		グローバル・プレゼンテーション1	各指導教員	1			
333111		グローバル・プレゼンテーション2	各指導教員	1			
演習科目(※4)		333201 創薬・育薬演習	各指導教員	4	4		
	333202 創薬・育薬応用演習(2年次専用)	各指導教員	2			2	
修了要件単位合計					19	11	30単位

※1：10単位を超えて修得した場合はプログラム科目の単位として算入できる。

※2：1単位を修得すること。ただし、「創薬・育薬実習1」及び「創薬・育薬実習2」をともに修得した場合はうち1単位をプログラム科目に算入できる。

※3：同一科目の重複履修を認める。ただし、重複履修し修得した単位は修了要件外とする。

※4：4単位を超えて履修した場合はプログラム科目の単位として算入できる。

※5：4単位を上限として、修了要件に含めることができる。各科目の単位数は別表参照。

2 開講授業科目及び担当教員

	講義番号	授業科目	担当教員	単位数
医歯科学専攻相互履修科目	321001	医歯科学概論	シラバスを参照	2
	321002	生命倫理学		1
	321003	人体構造学		2
	321005	人体生理学		2
	321006	生化学		2
	321007	病理病態学		2
	321008	総合薬理学		2
	321009	生体材料学		2
	321010	社会医歯科学		2
	321011	臨床医歯科学概論		2

【履修方法】

指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。

授業区分	講義番号	授業科目	担当教員	単位数	修了要件				
					必修	選択必修	選択		
研究科 共通科目	導入科目	331001 薬科学概論	全教員	1	1				
大学院 共通 科目	リーダーシップとSDGs	332001 リーダーシップとSDGs	(共通Web授業)	2	2				
	特別研究(※1)	332101 創薬・育薬特別研究	各指導教員	10	10				
		332103 創薬・育薬特別応用研究(2年次専用)	各指導教員	3			3		
	プロジェクト・ マネジメント実習 (※2) (※3)	332203 創薬・育薬実習1(45時間以上)	各指導教員	1		1			
332204 創薬・育薬実習2(90時間以上)		各指導教員	1						
プログラム 専門 科目	プログラム科目	333101 創薬・育薬研究概論	学務委員長(コーディネーター) 非常勤講師	2	2				
		333102 先端創薬研究序論	学務委員長(コーディネーター) 中山 雅敬 教授 細野 祥之 教授	1					
		333112 薬科学データサイエンス	座間味 義人 教授 小山 敏広 教授 濱野 裕章 講師 武田 達明 講師	2					
		333104□ 有機化学・天然物化学	好光 健彦 教授 澤田 大介 教授 久保田 高明 教授 加来田 博貴 准教授 栗本 慎一郎 准教授 阿部 匠 講師	2					
		333105 分析科学・物理化学	須藤 雄気 教授 上田 真史 教授 井上 剛 准教授 田中 智博 准教授 小島 慧一 講師	2					
		333106 生命科学・分子生物学	上原 孝 教授 垣内 力 教授 竹内 綾子 教授 谷口 陽祐 教授 宮地 孝明 教授 表 弘志 准教授 古田 和幸 准教授 高杉 展正 准教授 石川 一也 助教	2		10			
		333107 生命科学・レギュラトリーサイエンス	小野 敦 教授 堀口 道子 教授 金 恵淑 准教授 児玉 進 准教授 丸山 正人 准教授 日浅 未来 講師	2					
		333108 生命科学・臨床薬学	有吉 範高 教授 山本 和宏 教授 合葉 哲也 准教授 杉本 幸雄 准教授 松本 准 准教授	2					
		333110 グローバル・プレゼンテーション1	各指導教員	1					
		333111 グローバル・プレゼンテーション2	各指導教員	1					
		演習科目(※4)	333201 創薬・育薬演習	各指導教員	4		4		
			333202 創薬・育薬応用演習(2年次専用)	各指導教員	2				2
		修了要件単位合計					19	11	
					30単位				

※1：10単位を超えて修得した場合はプログラム科目の単位として算入できる。

※2：1単位を修得すること。ただし、「創薬・育薬実習1」及び「創薬・育薬実習2」をともに修得した場合はうち1単位をプログラム科目に算入できる。

※3：同一科目の重複履修を認める。ただし、重複履修し修得した単位は修了要件外とする。

※4：4単位を超えて履修した場合はプログラム科目の単位として算入できる。

Ⅲ 教務関係事項(博士後期課程)

1 履修案内

1. 博士後期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士後期課程

- 1 当該課程に3年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年(2年未満の在学期間をもって修士課程又は前期2年の課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、12単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受け、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士後期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP26～P27のとおりです。

3. 各種科目の開講について

開講予定については、掲示板又はホームページでご確認ください。

4. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して各自行うこととします(履修登録のない科目の単位修得は認められません)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

5. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、授業区分のうち、特別演習については、平素の成績により、単位を認定するこ

とがあります。

6. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士後期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

7. 成績評価

成績評価は、本専攻の定める成績評価基準に基づき行います。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とします。

本学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Averageの略で、成績評価値をあらわします。本学におけるGPA制度の成績の表記とGPの換算は次のとおりです。

成績の評語およびグレード・ポイント（GP）

評語	評点 (整数)	H28年度以降に履修する 授業科目の GP 算出方法：(評点-55)/10	H27年度までに 修得した 授業科目の GP	基準等
A+	100点	4.5	4	シラバスに記載する到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	99点	4.4		
	98点	4.3		
	97点	4.2		
	96点	4.1		
	95点	4.0		
	94点	3.9		
	93点	3.8		
	92点	3.7		
	91点	3.6		
A	90点	3.5	3	シラバスに記載する到達目標を達成し、優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	89点	3.4		
	88点	3.3		
	87点	3.2		
	86点	3.1		
	85点	3.0		
	84点	2.9		
	83点	2.8		
	82点	2.7		
B	81点	2.6	2	シラバスに記載する到達目標を達成し、良好な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	80点	2.5		
	79点	2.4		
	78点	2.3		
	77点	2.2		
	76点	2.1		
	75点	2.0		
	74点	1.9		
73点	1.8			
72点	1.7			
71点	1.6			

	70点	1.5		
C	69点	1.4	1	シラバスに記載する到達目標を概ね達成している。 合格（単位を授与する）
	68点	1.3		
	67点	1.2		
	66点	1.1		
	65点	1.0		
	64点	0.9		
	63点	0.8		
	62点	0.7		
	61点	0.6		
	60点	0.5		
F	0～59点	0	0	シラバスに記載する到達目標を達成していない。 不合格（単位を授与しない）
W	付さない	対象外	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に取消を行った授業科目
認定	付さない	対象外	対象外	単位認定等を受けた授業科目
修了	付さない	対象外	対象外	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、もしくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	付さない	対象外	対象外	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。

8. 成績の通知

- (1) 成績評価は各自が学務システム（WEB）で確認してください。
- (2) 成績開示後、開示された成績に質問・疑問等がある場合は、当該授業担当教員に質問等を行うことができます。
- (3) 質問に対する教員の回答が得られない、または回答に納得できない場合は、「岡山大学大学院（薬学系）専門科目における成績評価異議申立に関する要項」に基づき、異議を申し立てることができるので、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。
- (4) 成績評価に関する質問・疑問等がある場合には、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。

9. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあつては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。
- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

10. 学位論文の評価基準等

(1) 評価基準

- 1 主たる論文内容が申請者自身の研究結果であること。
- 2 論文内容が質・量ともに担保されていること。
- 3 論文記載の研究成果に、新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること。
- 4 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること。

(2) 審査委員の体制

審査委員会は、次の各号に掲げる審査委員で組織します。ただし、審査委員には、教授および准教授それぞれ1名以上を含まなければならないこととします。

1 主査

論文内容に造詣が深く、正指導教員あるいは紹介指導教員ではなく、参考論文の共著者でない教授、准教授又は講師（ただし、㊦の資格を有する者に限る。）

2 副査

論文内容に造詣が深い教授又は准教授（ただし、㊦の資格を有する者に限る。）2名以上。正指導教員又は紹介指導教員を含んでもよいが、参考論文の共著者でない副査を必ず含むこと。

(3) 審査方法

公開での学位論文発表会を行い、上記審査委員で構成される審査委員会にて予備審査を実施します。審査の結果、合格であった者のみ、論文審査並びに最終試験を行います。

(4) 審査項目

- 1 研究への貢献度
- 2 論文内容の質・量
- 3 研究成果の新規性・進歩性
- 4 論文形態・書式の適切性

11. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）授業科目の履修を希望するとき、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。なお、履修した単位は、10単位を限度として修了に必要な単位として認定することができます。

12. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。ただし、必要な手続きを経て承認された場合は、延長することができます。

13. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士後期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する場合、薬学系教務学生担当に願い出てください。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、薬学系教務学生担当にて手続きを確認してください。

研究指導計画書

【 年 月 日 作成】

学生番号		フリガナ 学生氏名 【自署】			
講座名		教育研究 分野名			
課程	博士前期・博士後期	在学年次	年次	入学年度	年度
出身大学	学部	大学 学部 学科 (年 月 卒業)			
	修士 ※1	大学大学院 研究科 専攻 (年 月 修了)			
		修士論文 題目	学位の名称		
			指導教員名		
研究題目					
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2
	研究計画 (学会発表、論文作成等を含む) : 学生が記入				
	研究指導計画 : 指導教員が記入				
	本欄は各研究科で適宜利用 * 欄が不足する場合は適宜追加可能 * 副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可				

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

2 開講授業科目及び担当教員

博士後期課程 薬科学専攻

【履修方法】

指導教員の指導により、12単位以上を修得すること。

特別演習「創薬・育薬特別演習」の選択単位分（4単位分）については、博士課程 薬学演習（別表参照）を履修することができる。

ただし、修了要件に算入する単位は2単位とする。

授業区分		授業科目	担当教員	単位数	修了要件	
					必修	選択
研究科 共通科目	導入科目	薬科学概論	全教員	1	1	
		大学院 共通科目	特別演習 (※2)	2	4	
大学院 共通科目	プラクティカム (※1)	創薬・育薬特別実習1（プラクティカム）	各指導教員	1		
		創薬・育薬特別実習2（プラクティカム）	各指導教員	2		
	特別演習 (※2)	創薬・育薬特別演習（創薬有機化学）	好光 健彦 教授	2	2	4
		創薬・育薬特別演習（医薬開発臨床情報学）	加来田 博貴 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（天然物化学）	久保田 高明 教授 栗本 慎一郎 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（生体機能分析学）	上田 真史 教授 田中 智博 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（再生治療薬学）	堀口 道子 教授	2		
		創薬・育薬特別演習（トランスポーター学）	宮地 孝明 教授	2		
		創薬・育薬特別演習（生体膜輸送科学）	表 弘志 准教授 日浅 未来 講師	2		
		創薬・育薬特別演習（核酸創薬化学）	谷口 陽祐 教授	2		
		創薬・育薬特別演習（薬物動態解析学）	丸山 正人 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（生体応答制御学）	垣内 力 教授 古田 和幸 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（生体分子解析学A）	須藤 雄気 教授	2		
		創薬・育薬特別演習（生体分子解析学B）	井上 剛 准教授	2		
		創薬・育薬特別演習（安全性評価学）	国立医薬品食品衛生 研究所連携講座教員	2		
創薬・育薬特別演習（生体金属作用学）	環境省水保病総合研究 センター連携講座教員	2				
プログラム 専門科目	プログラム 科目（※3）	研究方法論基礎	全教員	1		1
		研究方法論応用	全教員	1		1
		薬科学研究発表演習（研究基礎力審査）	学務委員会	1	1	
		最先端創薬・育薬特論	学務委員長（コーディネーター） 非常勤講師	1	1	
		先端創薬研究	学務委員長（コーディネーター） 中山 雅敬 教授 細野 祥之 教授	1		1
		創薬有機化学	好光 健彦 教授	1		1
		医薬開発臨床情報学	加来田 博貴 准教授	1		1
		天然物化学	久保田 高明 教授 栗本 慎一郎 准教授	1		1
		生体機能分析学	上田 真史 教授 田中 智博 准教授	1		1
		再生治療薬学	堀口 道子 教授	1		1
		トランスポーター学	宮地 孝明 教授	1		1
		生体膜輸送科学	表 弘志 准教授	1		1
		生体膜分子生理化学	日浅 未来 講師	1		1
		核酸創薬化学	谷口 陽祐 教授	1		1
		薬物動態解析学	丸山 正人 准教授	1		1
生体応答制御学	垣内 力 教授 古田 和幸 准教授	1		1		

プログラム専門科目	プログラム科目（※3）	生体分子解析学A	須藤 雄気 教授	1		1
		生体分子解析学B	井上 剛 准教授	1		1
		安全性評価学	国立医薬品食品衛生 研究所連携講座教員	1		1
		生体金属作用学	環境省水俣病総合研究 センター連携講座教員	1		1
		薬効解析学	上原 孝 教授 高杉 展正 准教授	1		1
		炎症薬理学	杉本 幸雄 准教授	1		1
		薬物療法設計学	合葉 哲也 准教授	1		1
		臨床病態診断学	岩崎 良章 教授	1		1
		毒性学	小野 敦 教授 児玉 進 准教授	1		1
		医薬品分子標的学	金 惠淑 准教授	1		1
		臨床基礎統合薬学	山本 和宏 教授	1		1
		疾患薬理制御科学	有吉 範高 教授 松本 准 准教授	1		1
		生理機能情報学	竹内 綾子 教授	1		1
		精密有機合成化学	澤田 大介 教授 阿部 匠 講師	1		1
		臨床薬理学	座間味 義人 教授 濱野 裕章 講師	1		1
		健康情報科学	小山 敏広 教授	1		1
		医学薬理学	細野 祥之 教授	1		1
		グローバル・プレゼンテーション1	各指導教員	1		1
		グローバル・プレゼンテーション2	各指導教員	1		1
		修了要件単位合計				7
				12単位以上		

※1:2単位を上限として修了要件に算入することができる。同一科目の重複履修（上限2単位を超える場合は要件外）を認める。

※2:2単位を超えて修得した場合はプログラム科目の単位として算入できる。

※3: プログラム科目のうちから7単位以上を修得すること。

(別表) 博士課程 薬学演習

授業科目群	授業科目	担当教員	単位数
薬学演習	毒性学 (演習)	小野 敦 教授 児玉 進 准教授	4
	疾患薬理制御科学 (演習)	有吉 範高 教授	4
	臨床基礎統合薬学 (演習)	山本 和宏 教授	4
	薬効解析学 (演習)	上原 孝 教授 高杉 展正 准教授	4
	健康情報科学 (演習)	小山 敏広 教授	4
	臨床薬物動態学 (演習)	合葉 哲也 准教授	4
	炎症薬物学 (演習)	杉本 幸雄 准教授	4
	国際感染症制御学 (演習)	金 惠淑 准教授	4
	臨床病態診断学 (演習)	岩崎 良章 教授	4
	衛生微生物化学 (演習)	(未定)	4
	構造生物薬学 (演習)	(未定)	4
	生理機能情報学 (演習)	竹内 綾子 教授	4
	精密有機合成化学 (演習)	澤田 大介 教授 阿部 匠 講師	4
	臨床薬理学 (演習)	座間味 義人 教授	4